



新谷の
 十月
 の
 月
 夜
 月
 夜
 月
 夜

新谷の
 十月
 の
 月
 夜



大関 奇應丸源吉膏 小結 順氣散驚雷 前頭 能膽滯真愈 前頭 實母散植竹 前頭 本町龍舟煉 前頭 久喜割富眼藥 前頭 龍手湯聖道丸

大関 癩瘡富守金神玉 小結 惡疾其衛壁濕 前頭 中風之進床示 前頭 癩源火差込 前頭 逆立太郎血道 前頭 黃湯四郎塊香汁 前頭 咳之太郎痛胸

奇抄三郎振出 一角 九毒解 鞍馬相傳角膏 腎臟子牛肉丸 大坂定砵霍乱 大坂定砵羅助神勢 大補湯十全 大坂定砵霍乱 大坂定砵羅助神勢 大坂定砵羅助神勢

鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲

世安交殘四門 紫合渡枳城 袖の松太郎吉 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲 鐵治橋柳筆飲

病樂道遊競

大森和敬發言 小田原外部八棟 中田銘方底豆

大傷寒火燃入道 鳥屋用源頼朝 大傷寒火燃入道

鳥屋用源頼朝 大傷寒火燃入道 大傷寒火燃入道

大関

省撥毒子天

赤世久民元高

小結

肝腎油鹽

大野一角驗道

前頭

赤葉散

八方散那漢子市

前頭

薄荷圃

痲痺坊玉水

前頭

萬金丹伊婆郎

神田婦王散調

前頭

伊吹金平采安

伊東入道温家

前頭

懷中丹法寶

解毒毒方病虎家

前頭

吉田聖光散

万能膏極良

病藥道聖鏡二

編二

大儀之少

大関

胎毒天皇

水腫之太夫腹直

小結

風邪守生兼後

血之道寒計豆双

前頭

心瀉藥

兩濕十郎冷成

前頭

癩痢郎

食場二郎吐直

前頭

起利判官

躡之注司銀之目

前頭

眩暈

落馬之助勝

前頭

難儀

山江忘之助健忘

計の系二

大乃寺丸甚盛若

黃膏種極善

物花香水吉煮

田抄の志吉

口中一方赤

三葉丸

足母之丸の助

田抄の丸吉

志西の助若葉

内損腎宗盛

六味地黃養義

脚氣腫滿

金瘡太郎

腹癢江直吞

大便津貝浦長

下里腹助通行

嘔吐園及次飯

大食茂番之輔

盜汗柿吾君門

麻痺治郎左門

痰十郎左門

天新板附會三才繪初編

天象の部

天の象
天の象
天の象



天の象
天の象
天の象

天の象
天の象
天の象

天の象
天の象
天の象

天の象
天の象
天の象

地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

天象の部

天象の部
天象の部
天象の部

天象の部
天象の部
天象の部

天象の部
天象の部
天象の部

天象の部
天象の部
天象の部

天象の部
天象の部
天象の部

天象の部
天象の部
天象の部

地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

地義の部
地義の部
地義の部

國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

國之部
國之部
國之部

大新猗猗三才圖會

魚之部

天竺の魚
魚の部

大魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

魚の部

大新拔附會三才圖會編

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

草花之部

村上人傳状し事

一 此茄子は多と申者申出に加明むらじ郎者ねんぢと申村小てんやうぢき
 松原なる者申出は存日びも後申おん不

孫を本らうと方おかしく申者申知

實心之慈と名のあむそひの大とんやう

末に藤の壽と申中年九年母

お寛正徳令相とて本あめさるや

この茅うけ名の中はは志と名のあひ

喜と申かじしつ冬の影手うの木のこと

一ツと申やゆるや

一 宗者之候へ代は生妻家あてまのまら村出

けんむくも申なるを和尙と申

まゝの空は存日初草の

ゆりあてん宗とてのあま

り一は申あてん分と申あま

かれきとこれと申ゆる又のてうと申あま

大根のいと申出巻雨の女中と申おせりあま

半房のゆ米と申いしはは火切のへちまの中うと申丸

をのりてとりあけふみうりゆまはらくじびを孫申あま

そ度へりていひ申あま申あま申あま申あま申あま

茗荷二まん竹の子と申月

丸あけ丁

武蔵栗之虫換



いんげんさげや
 芋むしあまの店
 産おや丸屋
 免の下や去物店
 山の内やとろ六



特別
76
5455
9

早稲田大学図書館
<2015-106>